

支え合いの輪を広めて

校長 渡辺 正彦

我が学校、「横浜みどりの学校ひまわり」は名称の前に必ず「ボランティアスクール」の文字が付記されます。読む人によっては本校がボランティアを養成する学校だと勘違いされることもあるようです。

ご承知の通り、本校は、全て無報酬のボランティアの皆様により運営されている学校です。ボランティアによる学校運営の発想は今から10数年前に私が横浜市立さつきが丘小学校の校長を務めていた時に遡ります。当時、私は多様な経験に富む地域の皆様の教育力を学校教育にも活用できないかと考えておりました。閉鎖性の強い当時の教育現場では教員達の異論も多かったように思いますが、多いときには約200人のボランティアが学校教育を支援してくださっておりました。

さて、現在の本校のボランティアの数は約30名。高校生から80才代の方まで幅広い年齢層に加えて、ボランティアの居住地も地元横浜青葉区はもとより藤沢、西八王子、東京羽田、鶴見、戸塚など広範囲に及んでおります。年齢も性別も職業も居住地も境遇も異なるボランティア達ですが、「学校で苦戦している子ども達を支援しよう」という唯一の目的の下にひまわりに結集しております。時間を割いて、交通費を自弁して。本当に素晴らしいことだと思います。

今、ひまわりでは、不登校を経験した高校生達が自らの経験を生かして子ども達を支援しております。それは自分への支援でもあります。高校の教師を目指す大学生もおります。

臨床心理士を目指す大学院生も、公立学校の既存の教育からの脱却を目指すためにひまわりボランティアを選んだ現役小学校教師もおります。メンタル面で悩む者、自分の生き方を模索する者も。多くのボランティアは子どもを支援することにより自らの悩みや課題、目標を克服・達成しようと本校でボランティア活動しております。

学校で苦戦している子ども達を支援しようと設立した本校ですが、10年の歳月を経た今、子どもを支援しているボランティア自身が子どもから支援を受けている構図になっております。加えて、育児や教育、家庭問題に苦悩する保護者ボランティアもあり、「ボランティアスクール横浜みどりの学校ひまわり」は、子ども・ボランティア・保護者が互いに支え合う場へと進化し続けております。

その裏にはひまわりを応援してくださる地域の皆様、自治会、商店会、青葉区社会福祉協議会、生協、ロータリークラブなどの諸団体、諸企業の温かなご理解とご支援があります。

設置者の校長にとっては、子ども支援の他にボランティア、保護者と支援対象が広がる中で自身の加齢もあり大変な面もありますが、実は校長自身も老化やメンタルの不安を子ども達やボランティア、保護者から力をいただき、助けられているのです。

「支え合い」と「共生」のひまわりでは、コロナ禍の不安が払拭できない昨今にあって一足早い恵風が吹いております。

ボランティアの先生をご紹介します Vol. 7

大家 香子先生

先生はかつて他県で公立小学校の教師をしていらっしゃいました。その経験を生かして本校で学習を中心に子どもの支援をしてくださっております。

先生は、教師経験者であると同時に本校に 3 名在籍する臨床心理士の有資格者でもあります。日々、子どもの支援と同時に保護者のカウンセリングにも尽力して下さっております。

さすが臨床心理士だけあって子どもへの対応は非常に穏やかで、常に子どもの訴えや意見をしっかりと受け止める手法は卓越しております。

先生のライフワークは「アイヌ文化の研究」とか、いつか子ども達に日本の先住民族やアイヌ文化、異文化理解のお話をさせていただこうと思います。青葉区在住。

活動報告

臨時休校、変則開校が続いております

新型コロナで国の緊急事態宣言が延長される中、ひまわりは 8 月 23 日より 9 月 12 日まで感染防止のために臨時休校をしておりました。その後 9 月 13 日より時間短縮・人数制限の条件付きで変則開校を続けております。(9 月 20 日現在) この間、ひまわり農場の活用やオンライン活動の充実などコロナ対策に知恵を絞った活動を展開しております。

ふれあいレストラン開催

コロナ感染防止に細心の注意を払いながら開催された「ひまわりふれあいレストラン」は、フードバンクから提供される食材を利用して親子のシェフ達が調理にあたります。現在は内部事業ですが将来的には、地域の皆様を招待しての活動にしたいと思います。因みに今回の献立は、A ランチ「イタリア風そーめん」、B ランチがひまわり農場直送のオーガニック野菜ふんだんの「炊き込みごはん」でした。



子どもシェフ也大活躍!

ひまわり再開を願っての大掃除を実施

臨時休校中の8月3日（火）に保護者有志、ボランティアによる「コロナ撃退・学校再開準備大掃除会」が実施されて、普段は掃除のできない細部を中心に清掃活動が行われました。子ども支援の思いは清掃活動にも見られ熱い清掃ぶりでした。

コロナに負けない活動の工夫

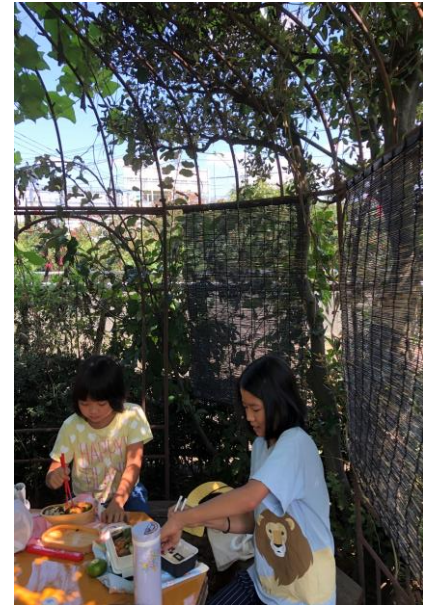
コロナ感染防止のためひまわり農場での活動の充実と環境整備を行っております。

①憩いスポットの整備

農場入り口右側の松の木の横に憩いのスポット「松の木の下で」を改装整備しました。子ども達、ボランティアの集いに活用します。

②農場奥に卓球エリアを新設しました。

電動玉出機も配置したため子ども達から絶大な人気です。



コロナに負けない！
松の木の下で
野外ランチ



夏空の下で体を動かして汗をかきました

◆ひまわり子ども支援財団を設立◆

家庭の事情などで経済的支援が必要な方のために最高1万円を無利子で貸し出す「ひまわり子ども支援財団」をひまわり内に設立しました。

資金は子ども達と育てた野菜、魚、鈴虫の売り上げです。ささやかな金額ですがこのような活動が子ども達の心に響くことが目標です。賛同の方々の支援金も募っております。また、この活動と一緒に取り組んでいただける方も募集中です。

◆ひまわり畑だより◆

子ども達と育てた無農薬野菜、魚（グッピー、メダカ、ヌマエビ）を買って下さい。購入は野菜が100円単位、魚は50円単位です。販売は月曜日と金曜日です。場所はひまわり農場、野菜は無人販売、魚は11時から12時に販売します。売上げは「ひまわり教育基金」に充てられて、事情でひまわり活動費の納入が困難な家庭の支援に活用します。予約販売も可能です。 予約先：090-9201-3992



安心して食べられるひまわり野菜



子ども達による野菜の収穫



畑でカエルを見つけて大騒ぎ

★ご質問・見学ご希望の方は、渡辺（090-9201-3992）までお気軽にお問い合わせください。
最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/>、と Facebook にてアップデートしています。

